

## WEEKLY BULLETIN

会報 2016-2017

6月22日(木) 第42号  
第2835回例会  
第2510地区

●本日のロータリーソング 我等の生業

Rotary



## 中小企業とLGBT 札幌東ロータリークラブ

井上税務会計事務所所長 井上 奈穂子 氏



本日6月1日から、性的マイノリティ当事者のための「札幌市パートナーシップ宣言制度」(札幌市要項)がスタートしました。自治体によるパートナーシ

ップ制度導入は2015年以来、渋谷区、世田谷区、などの先行例に続き全国6例目となり、もはや話題性にかけてという見方もありますが、札幌市は政令市としては全国初であるだけでなく、単独で人口196万人は、先行5自治体の人口を合計した173万人を大きく上回る為、今後の試金石という意味で制度導入を検討する全国自治体から注目されています。

パートナーシップ制度は、法的拘束力を伴うものではなく、性的マイノリティ当事者の日常生活に最低限の理解と配慮を求めることがその趣旨になりますが、多くの場合自宅以外では学校や職場で過ごす時間が最も長く、中小企業においても適切な対応が求められることは言うまでもありません。

13人に1人(電通ダイバーシティラボ調べ)といわれる性的マイノリティは「LGBT」とも言われ、近年は大企業を中心に、LGBT当事者の新卒者を対象とした就職説明会を行ったり、就業規則における「結婚」「夫婦」の定

本日のプログラム

ナチュラルミネラルウォーター  
“ゆきのみず”について

札幌通運株式会社ゆきのみず生産管理事業部長 村上 淳 氏

義を同棲パートナーにも拡充したりと対応が進んでいますが、残念ながら労働人口の約75%が働く中小企業では、まったくLGBT対応がされていないか、されていても不十分なケースがほとんどです。

LGBT当事者の多くは「クローゼット」、つまり当事者であることを隠して生活しており、一般の異性愛者にそれを見抜くことは困難です。カミングアウト(当事者であることの公言)をするか否かは当事者の自由ですが、いずれの場合にも不要なストレスや差別を受けない職業環境をつくるために、すでに自社にもLGBT当事者が存在することを前提として経営者はもちろん職場全員の意識を変えることが必要であります。

LGBTについて知ることは、これまで日本企業がともすると軽視しがちだった、「ダイバーシティ=多様性」について考えるための好機でもあり、そこには柔軟で強い組織をつくるためのヒントが多く盛り込まれていると考えています。

マンスリー  
メモ

喫煙(Smoking)

喫煙は健康に有害であるため、会員ならびに来賓は各自、会合やそのほかのロータリー関連の行事の間、喫煙しないよう奨励される(RI細則2.050)。